

## ● 2016年（平成28年）1～3月

### 1 社会・治安情勢

#### （1）シリア国境における不法入国等

ア 1月4日、国境警備隊はヨルダンから隣国へ不法に越境しようとした外国人男性1名の身柄を拘束した（1月6日付各紙）。

イ 1月23日、国境警備隊はシリアからヨルダンへ越境しようとした36名の入国を阻止し、200万錠の麻薬錠剤を押収した。36名のうち、12名が死亡し、数名が負傷した（1月24日付各紙）。

ウ 1月24日、国境警備隊はシリアからヨルダンへ陸路で越境を企図した2名を殺害し、1名を逮捕した。2,600枚の大麻シート及び239万錠の麻薬錠剤を押収した（1月25日付各紙）。

#### （2）カラクにおける騒擾事案等

ア 1月12日、治安当局が1月8日にカラク県モータ市で発生した店主射殺事件の容疑者を逮捕したことを公表した後、被害者の親族等ら数百名がモータ市内で犯人に対する怒りを表出し騒擾行為を行い、憲兵隊は催涙ガスを使用した（1月13日付ガド紙）。

イ 2月11日、水・灌漑省関係者によると、カラクのプロジェクト現場において労働者1名が死亡し、3名が負傷した。同省は、関係省庁と連携して必要な措置をとる予定であり、ハイレベルの調査委員会を設置した（2月12日及び13日付ヨルダン・タイムズ紙）。

#### （3）イラク国境における不法入国

1月20日、国境警備隊は、イラクからヨルダンへ不法入国しようとした男性1名を拘束した（1月21日付各紙）。

#### （4）シリアからヨルダン国内への砲弾

2月13日、シリアから5発の迫撃砲がラムサに着弾し、うち3発は民家に落ちたが負傷者はいない（2月14日付ヨルダン・タイムズ紙）。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### 2015年の国境警備隊の活動

（1）不法越境企図を阻止した件数：85件（132名）

（2）武器押収数：1,473丁

（3）銃弾押収数：6,659個

（4）カプタゴン錠剤の押収数：16,768,684錠

（5）大麻シートの押収数：893,060枚（1月5日付各紙）

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

3月1日（現地時間）、ヨルダン治安部隊は、イルビット市（首都アンマンから北方約90km）中心部において、指名手配中のイスラム過激派を摘発し、その際銃撃戦が発生した。同銃撃戦において、治安部隊は、指名手配者ら7人を射殺し、現場において複数の武器と爆発物を押収した模様。ヨルダン情報機関は、同過激派が、イスラム過激派組織 ISIL（イラク・レバントのイスラム国）とのつながりがあり、国内の軍施設、民間施設等を標的とする攻撃の計画があった旨明らかにしたと報じられている。

#### 4 誘拐・脅迫事件発生情報

なし。

#### 5 日本企業の安全に関わる諸問題

なし。

（了）